

USN 抹消課題 記録シート

A4 縦 / 1枚完結 / 自作課題の実施条件・探索所見・ADL接続を記録

重要：この自作課題単独でUSNの有無を確定せず、BIT等の標準化検査のカットオフを流用しません。

基本情報

患者ID	評価日・時刻
評価者	場所

実施前確認・実施条件

課題・用紙	☐ 本サイト実施用シートv2（全24：左12 / 右12） ☐ その他：左ターゲット / 右ターゲット / 印刷倍率 %
姿勢・配置	姿勢： ☐ 椅子座位 ☐ 車椅子 ☐ ベッド上 ☐ その他 用紙： ☐ 体幹正中 ☐ 左へ cm ☐ 右へ cm 頭部・体幹偏位： ☐ なし ☐ あり
視覚・理解	視距離 実測 cm 眼鏡： ☐ 不要 ☐ 使用 照明： ☐ 良好 ☐ 要調整 影響確認： ☐ 視力 ☐ 視野 ☐ 眼球運動 ☐ 覚醒/疲労 ☐ 指示理解/失語
使用手・援助	使用手： ☐ 右 ☐ 左 利き手変更： ☐ なし ☐ あり 上肢麻痺/失調： ☐ なし ☐ あり 援助： ☐ なし ☐ 姿勢/前腕支持のみ ☐ 声かけ ☐ 指差し等の探索誘導（内容 ）
教示・終了	教示：「指定マークだけを、できるだけ早く、すべて消してください」 開始位置：誘導しない 終了：本人の終了申告を基本 探索停止は時間と再開状況を記録し、固定秒数だけで終了しない

結果：見落とし分布と探索経過を残す

見落とし	左 / 12	右 / 12	合計 / 24
誤反応	誤抹消 重複	所要時間 秒	
探索開始	☐ 左 ☐ 中央 ☐ 右	探索停止 ☐ なし ☐ あり（最長 秒）再開： ☐ 自発 ☐ 声かけ ☐ なし	
探索の進み方・見落としの位置			
中断・介入・反応の変化			

所見整理：診断名ではなく、観察事実と条件影響を書く

見落とし分布： ☐ 一側優位 ☐ 両側に散在 ☐ 明らかな左右差なし ☐ 条件影響が大きく判定保留

解釈へ影響する要因： ☐ 視力/視野 ☐ 眼球運動 ☐ 理解/失語 ☐ 覚醒/疲労 ☐ 麻痺/失調 ☐ 姿勢偏位 ☐ その他

所見まとめ：

次の評価・ADL / ケアへの接続

次に行う評価： ☐ 線分二等分 ☐ 二重同時刺激 ☐ CBS ☐ ADL観察 ☐ BIT等標準化検査 ☐ 視野/眼球運動

ADLで確認すること：

ケア・申し送り：

例：左側物品の見落とし、歩行時の接触、食事での取り残し、必要な声かけ・立ち位置など

再評価：条件をそろえて比較

次回も固定する条件： ☐ 同一用紙 ☐ 配置 ☐ 姿勢 ☐ 視距離 ☐ 使用手 ☐ 姿勢支持 ☐ 探索への声かけなし

今回から変更した条件：

次回評価日 / タイミング：